

# 劇壇漫評

岸田國士

青空文庫



×

新時代の演劇熱が、いよいよ通過すべき処を通過しつゝあるやうである。といふのは、戯曲創作熱から脚本上演熱に遷らうとしてゐることである。

昨今、少し大袈裟な云ひ方をすれば、新劇団の創立を伝へない日は稀である。何々座試演の招待券を貰はない日は稀である。実際の仕事を見なければ何んにも云へないわけであるが、これがたゞ単に、彼の戯曲創作熱がさうであつた如く、既成劇壇の模倣に終始しないことを切望するものである。月並な警告と云はゞ云へ、これら新劇団の標準が、果して何処にあるかを、考へてゐる人間があることだけでも知つてゐて欲しい。

幸四郎がシエイクスピヤを演じ、歌右衛門が乃木大将夫人に扮し、菊五郎が支那服を着て踊り、而して我が武者小路実篤氏が自作自演をする当節、何人能く一代の名優たらざらんやである。

私事に亘つて恐縮であるが、先日電燈会社社員某氏の名を以て、拙作上演の許諾を求められた。電燈会社から素人俳優……？ 僕は、それが若しや瓦斯会社の間違ひではないかと思つた。そして、その某氏こそ、仏蘭西式に呼べばアンドレ・アントワヌではないか

と思つた。

諸君は、かういふ僕を可笑しいと思はれるなら、一昨々年か巴里で出版された自由劇場回想録を読まれるがいゝ。アントワヌは、その当時、瓦斯会社の集金係をしてゐた。そして、仲間の芝居好きと一緒に素人劇団を組織した。その頃、巴里を中心に、素人芝居が盛んに流行してゐた。「今の若いものが踊りを踊るやうに、その頃の若いものは、役者の真似をした」と云つてゐる。

どうです、僕が胸を躍らしたのも無理はないでせう。僕はかねがね、現今の日本劇壇は仏蘭西の一八八七年頃に相当すると思つてゐる。なぜなら………くどいからよしませう。

×

脚本上演熱に関連して特筆すべき現象は、これら新劇団の多くが、「自分らの作者」らしきものを擁してゐることである。このことは過日水木京太君も時事新報紙上で指摘してをられたやうであるが、僕はそれを非常に結構な現象だと思つてゐる。杞憂を述べればいろいろあらうが、まあしばらく見てゐようぢやありませんか。かういふ場合、度々引合に出される例ではあるが、モスクワ芸術座に於けるチエホフの役割を演ずる作者は、さうぎ

らにあるものではない、さうかと云つて、いつまでも、バンヴェイルやゾラを演つてゐたんでは自由劇場も存在の理由がなかつたであらう。やつぱり、無理を押ししてゞも、無名作家の名を振りかざした処に、あの仕事の意義があつた。

そこで、わが新劇団の多くに望む一事は、「未知の才能をその萌芽のうちに見出せ」といふ難事業よりも、寧ろ、上演目録編成に當つて、劇団の個性を發揮することに努めること、即ち、何等かの意味で、劇壇に於ける一つの「新しき存在」となり得るために、「特色ある舞台」を作るといふことである。

この個性といひ、特色といひ、それは今日新奇を追ふものゝ一切を含んでゐない。たゞ、その劇団の「生命」——「看板作者」によつてその尖端を形造る一つの「傾向」を云ふのである。例へば、かの——「舞台を詩人の靈感に委せよ」といふ主張の如きこそ、最も鮮やかなる新旗色であらうと思ふ。

×

新劇団の簇出は、勢ひ在来の劇団、即ち、新劇を演ずる玄人団体の存在を思ひ起させる。敢て名を挙げよう。曰く、新劇協会、曰く舞台協会、曰く兄弟座、曰く……。美しく云へば花火の如く、神秘的に云へば彗星の如く、而も平凡に云つてしまへば、何のことはな

い〇の如く、出たと思つたら引込み、あると思つたら消えてしまふこれらの劇団は、今や何処にあつて何をしてゐるのか。「やるやる」とばかりにてやらないところだけがそれぞれの特長でもあることか、「やる」といふにも訳があり、やらなくなるにも事情はあると云へばそれまでだが、今度「やる」と云つても人が信用せず、切符はまたやらなくなつてから買へばいゝなどゝ落ちついてゐられたらどうします。

かう云つて置いて、僕は、新劇なるものゝ上演が、かくまで困難なる理由を考へずにはゐられない。

実は、それは考へるまでもないことだ。

# 青空文庫情報

底本：「岸田國士全集20」岩波書店

1990（平成2）年3月8日発行

初出：「演劇・映画 第一巻第一号」

1926（大正15）年1月1日発行

入力：tatsuki

校正：門田裕志、小林繁雄

2005年9月10日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 劇壇漫評

岸田國士

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>